

報道関係者各位

2016年9月15日

株式会社 日建設計
東京都千代田区飯田橋 2-18-3

ダイキン工業 テクノロジー・イノベーションセンター LEED-NC(新築部門) プラチナ認証を取得

LEED-NC(New Construction:新築部門)において
大規模オフィスビル(研究施設)で最高ランクを取得

株式会社日建設計(代表取締役社長 亀井忠夫)は、設計・監理(NTTファシリティーズと共同)およびLEEDコンサルティング業務を手掛けさせていただいた「ダイキン工業 テクノロジー・イノベーションセンター(以下、TIC)」(2015年竣工)について、米国発で世界的な環境性能評価指標であるLEED(Leadership in Energy and Environment Design)の新築部門(New Construction <v2009>)でプラチナ認証を取得いたしました。

建築主であるダイキン工業様は、環境やエネルギーなど社会が抱える様々な課題の解決に貢献する新たな価値の創造に取り組まれています。

グローバルに広がる同社グループの技術開発のコア拠点であるTICにおいては、ZEB(ゼロ・エネルギー・ビルディング)の実現に向け、ダイキン工業様の自社技術の粋を結集し、常に新しい省エネルギー技術を実証・検証し続けるソリューションモデルであることを目指しています。

今回の認証取得では、空調技術を中心とした省エネルギー性能、室内環境の快適性、エネルギー計測・検証の計画性、センター全体を挙げての取り組み等が評価されました。さらに、敷地内外への配慮、計画の革新性、節水計画および地域性に応じた環境対策という点からも高く評価されました。

当社では、かねてより環境配慮型建築の設計・監理を推進しており、今回の「LEEDコンサルティング」のように、認証取得を支援する業務も行っております。

今後も、より環境に配慮し、社会に貢献できる環境、都市、建築づくりに努めてまいります。

* 詳細は下記ホームページにて公表されています。

<http://www.usgbc.org/projects/Daikin-Technology-and-Innovation-Center>



ダイキン工業 テクノロジー・イノベーションセンター

■「ダイキン工業 テクノロジー・イノベーションセンター」の概要

建築主： ダイキン工業株式会社
設計・監理： 日建設計・NTT ファシリティーズ
所在地： 大阪府摂津市西一津屋 1 番 1 号
施工： 竹中工務店
竣工： 2015 年 11 月
階数： 地下 1 階、地上 6 階、塔屋 2 階
延べ面積： 47,911.86 m²
構造： 鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造

環境配慮の取り組み：

【省エネルギーと室内環境】

- ・ 高効率個別分散空調システムの採用
(高顕熱処理型ヒートポンプマルチエアコン + ヒートポンプデシカント式調湿外気処理機)
- ・ 自然エネルギーの積極的利用(自然換気、自然採光)
- ・ 再生可能エネルギーの利用(太陽光発電、地中熱・太陽熱利用)
- ・ 詳細なエネルギー計測・検証結果、第三者コミッショニング

【計画の革新性】

- ・ ラボ・カーボン・マネジメント(研究者参加型 BEMS とリアルタイム見える化)
- ・ 持続可能な排水管理(中水処理システム利用)

【節水】

- ・ 超節水器具の採用
- ・ 大規模な雨水利用

【地域別環境対策】

- ・ 敷地内に自生植物の森を創出

■ LEED について

LEED は、米国グリーンビルディング協議会が主宰する建物環境性能評価指標です。環境先進企業の環境ブランディングの指標や環境不動産としての基準等として認識・活用されています。LEED 認証を取得する動きは世界的に加速しており、認証取得建物は、米国はもとより中東やアジアなど約 70 の国や地域に所在し、現在、認証取得に取り組んでいる物件の所在は 130 以上の国や地域に及びます。

■ LEED 審査について

LEED の審査は、クレジットと呼ばれる要求条件ごとに申請機関である GBCI (Green Building Certification Institute) に申請します。加点点数により、認定 (Certified、40 点以上)、シルバー (50 点以上)、ゴールド (60 点以上)、プラチナ (80 点以上) の称号がそれぞれ付与されます。

審査部門には新築 (New Construction) 部門の他に、テナントビル (Core & Shell)、既存建物運用 (Existing Building Operation & Maintenance)、学校 (School)、小売店 (Retail)、病院 (Healthcare)、住宅 (Homes)、地域開発 (Neighborhood & Development)、インテリア (Commercial Interior) があります。

以 上
